



No. 122 2021. 8. 31

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

地域支援者連携会議

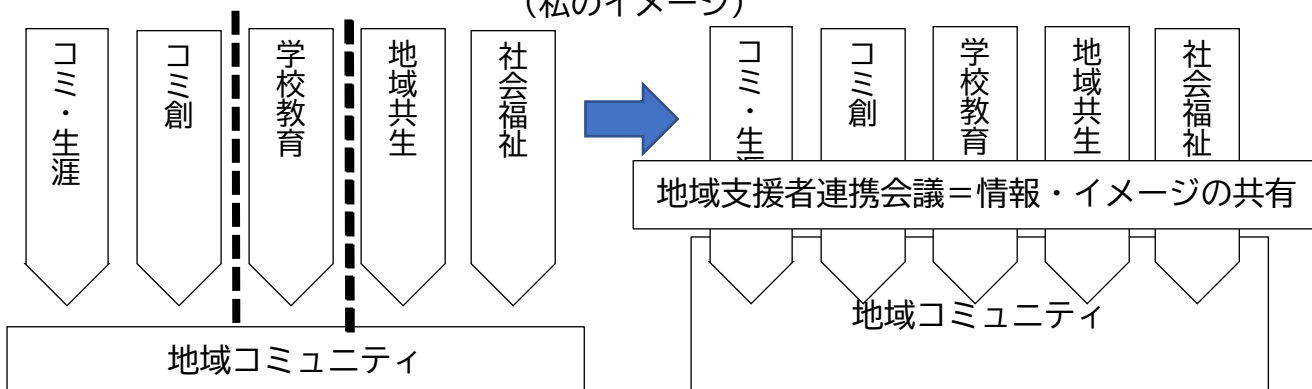
8月20日（金）に、“第5回地域支援者連携会議”が開催されました。この会議は3か月に1回、地域支援にかかわる組織が集まって、情報交換をおこなっていきこうという趣旨で始まったものです。どんな部署（組織）かというと、次の5つの部署（組織）です。

- ◎市民生活局市民協働推進室コミュニティ・生涯学習課
- ◎明石コミュニティ創造協会
- ◎教育委員会事務局学校教育課
- ◎福祉局地域共生社会室
- ◎明石市社会福祉協議会

それぞれの部署（組織）が、地域コミュニティへの支援をとおして、人々が安心して暮らせる持続可能な社会づくりを目指しているということをいつも参加しながら感じています。そうしたことを感じられるのは“地域支援者連携会議”というこの会があるからだと思っています。この会に参加するまでは、どのような部署（組織）があるのかさえも知らず、同じゴールを目指していても、互いにどのようなことを考え、どのような動きをしているのか分からなかったというのが正直なところでした。

“地域支援者連携会議”で互いの状況等の情報を交流するだけでも、「こんなことをされていたのか」、「これは一緒に考えてみると面白いのでは」といろいろとアイデアやイメージが広がっていきます。まだ、そこで情報を共有し、話し合ったことを形にするところまでにはいっていませんが、縦割りであったものが横のつながり、視野が広がったように思います。こうしたことが私の中で「社会に開く」ということなのかなと感じます。今回の会議の中で“未来に向けて子どもたちを育てていくことの大切さ”と“現時点での後継者の発掘”の両面からのアプローチが必要だという認識が共有されたのではと思います。新学習指導要領でも「社会に開かれた教育課程」の実現と打ちだされているのも、このあたりにかかわっているのではと思います。こうしたことを考えると学校運営協議会の役割が見えてくるのではと思います。

(私のイメージ)

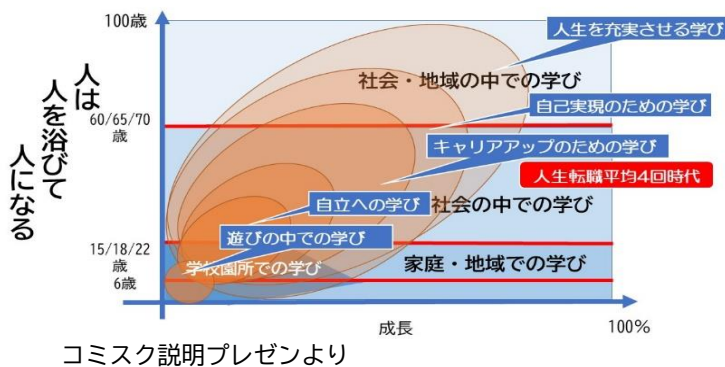


明石市社会教育委員会議

8月24日(火)に2021年度第2回明石市社会教育委員会議が開かれました。この会議は2019年度から第2次生涯学習ビジョンの作成に向け開かれているものです。昨年度から事務局の立場として参加させていただいていますが、参加するごとに私自身の生涯学習の捉えが変わっていきます。正直私自身の生涯学習の捉えは、“生涯学習は社会教育であり、学校教育とは違う余暇を充実させるもの”といったものでした。コミュニティ・スクールにかかわり始め、学校の中での内向きの視点から社会とつながった、地域の中での学びという視点を持ち始めてから徐々に学校教育と生涯学習は別物ではなく、学校教育は生涯学び続ける基礎を培う場であり生涯学習の入り口という捉えに変化してきました。それが改めてこの会議で生涯学習ビジョン作成に向け、生涯学習関係施設の役割での様々なご意見を聞く中で、生涯学習センター、あかねが丘学園、コミュニティ・センター、図書館等明石の社会教育機関とつながることにより、子どもたちの学びは社会とつながり、市民としての一歩を踏み出す学びへと学校教育の中でイノベーションがおきるのではと感じました。社会教育委員の方からも生涯学習のなかでのコミュニティ・スクールの役割や、

“学びと育ちの連続性＝持続可能な学びと育ちのレベルアップ”イメージ

人生100年時代の学びに向けて 生きることの喜び 人生を楽しむ・楽しめる力



コムスク説明プレゼンより

明石のコミュニティ・スクールが明石の生涯学習の土壌を生かしたシチズンシップ教育の場になるのではといったご意見を頂きました。そんなご意見を聞きながら、各学校運営協議会で地域の中で子どもも大人も育つ仕組みについて話し合われるようになったらいいなと妄想が広がりました。

Facebook・YouTube 情報

○Facebookに“ICT 教具論からの脱却”というグループがあります。そこに国際グローバル・コミュニケーション・センターの豊福先生がリンクをシェアされています。

“「オンラインでの双方向授業は難しい」はその通り。でも、だからやらなくていいという訳ではない。ただ、授業中継すればいい、は素人考え。”で始まるオンライン活用に対する考えは、コロナ禍の中の急場しのぎではなく、これからの情報社会の中での教育を考える要素が詰まっているように思います。

最後に書かれている「授業中継に飛びついてゴールを見失うな」の持つ意味をしっかりと考えてみる必要があると考えます。一度、検索して読んでいただけたらと思います。

【検索：ICT 教具論からの脱却 豊福晋平】

○YouTube：「未来の教室」キャラバン 2021

“大熊町教育委員会・熊町小学校×Qubena：大熊町で取り組む、学びの個別最適化”

これからの学校、これからの教育を考える上で必見です。ダイジェスト版は2分弱ですが興味がわきます。本編は40分程度ですが、いろいろと考えさせられる内容です。校内研修でも、活用できると思っています。

ダイジェスト版 <https://www.youtube.com/watch?v=M8pISjHc0Q0&t=33s>

本編 <https://www.youtube.com/watch?v=5G2vPq2XA5A&t=8s> (文責：北本)